

マーケットの動き（2025年2月10日～2月14日）

先週の国内債券市場は、前週末比で金利は上昇しました（債券価格は下落）。週初より、前週末の米国雇用統計発表後に米国長期金利が上昇した流れを受け、国内長期金利も上昇しました。その後も、12日発表の1月の米国CPI（消費者物価指数）が市場予想を上回り米国金利が上昇したことや日銀による追加利上げ観測が根強いこともあり国内長期金利は上昇しました。クレジット市場は、引き続き堅調に推移しました。

投資環境見通し（2025年2月）

国内長期金利はレンジ内で推移

日銀総裁は1月の利上げ決定の際に、政策金利を（景気を刺激することも冷ますこともない）中立金利と推計される水準に引き上げていく姿勢を示しました。国内長期金利はこれまでの上昇によって、日銀は今後1%に向けて政策金利を引き上げるとの見方がすでに織り込まれたとみられます。当面は今回の利上げ決定による短期的な材料出尽くし感から、レンジ内で推移するとみています。

	2月14日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（日本、%） （変動幅）	1.35	0.07	0.10	0.54	0.60
NOMURA-BPI総合 （騰落率）	352.94	▲0.25%	▲0.41%	▲2.85%	▲3.45%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202502_outlook.pdf

日本国債利回りの推移

（期間：2024年1月31日～2025年2月14日）



NOMURA-BPI総合指数の推移

（期間：2024年1月31日～2025年2月14日）



※2024年1月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>